

一般財団法人日本エスペラント協会（JEI）

2014年度事業計画

【0】 基本方針・重点課題

1. 昨年行ったJEIに対するアンケート結果を受け止め、JEIの事業（活動・運営）の改善を進める。特に広報、ウェブ活用、日本語エスペラント辞典改訂を推進する。
2. 昨年の第100回日本エスペラント大会の成果を生かし、新たな展開を図る。特に、アジアのエスペランティストとの協働、若年層の支援、一般への働きかけを強め、教育・文化面での活動をさらに進展させる。
3. 上記の活動を世界エスペラント協会（UEA）の戦略ビジョンとも呼応させ、会員の減少傾向に歯止めをかけ、上昇傾向への糸口をつかむ。

【1】 エスペラント普及事業

【1.1】 基本事業

1. 国内外のエスペラント組織と連携し、エスペラントを知らせ、エスペランティストを増やす普及活動を行う。
2. 広域団体会員、地域団体会員、専門団体会員、また個人会員との連携を強化し、会員以外の団体、個々のエスペランティストを含めて協働の輪を広げ運動の発展を図る。
3. 第101回日本エスペラント大会（福井県小浜市）の開催を機に、特に北陸でのエスペラントの普及に力を入れる。

【1.2】 エスペラント普及推進事業の計画

1. エスペラント運動が現在どのような状況にあるかの把握に努める。
 - （1）広域、地方、専門の各団体の昨年の活動を早めにアンケートし、それを2015年4月号のLa Revuo Orientaに「エスペラント運動年鑑」（2014年分）として発表する。
 - （2）日本大会中に、できるだけ多くのエスペラント団体からの参加を得て「エスペラント懇談会」を開催し、情報の共有、経験交流、運動の方向の確認を図る。
2. 各エスペラント団体との関係をより緊密にする。
 - （1）地方エスペラント連盟の大会などに理事が出席し、各地のエスペラント運動の状況について意見交換を行うようにつとめる。
 - （2）年3回（4月、9月、12月）に「普及推進部だより」を発行する。その際、様々な催しのチラシなども一緒に送付する。
 - （3）昨年行った「団体会員に対してのJEIに対するアンケート調査」の結果を運動に活かす。
3. 会員の拡大・定着に努める。
 - （1）研究教育事業として行われるセミナーや講座などへ多くの会員が参加できるよう宣伝を強める。
 - （2）新しい会員を獲得できるよう、各団体に「入門講習会」の開催を呼びかける。
 - （3）セミナーなどへの参加ができない会員の学力向上に、「沼津エスペラント会通信講座」、「エスペラント読書大相撲」ほか、メーリングリストやメールマガジンを利用した様々な取り組みを紹介しそこでの学習を勧める。
 - （4）来日する外国人エスペランティストに地方会を訪問してもらい、会員にエスペラントを実際に使う体験をしてもらえるようにする。またそのための情報共有の仕組みを検討する。
 - （5）エスペラント団体の存在しない県に対する取り組みをおこなう。
 - （6）エスペラント団体に団体会員制度の利点や重要性を知ってもらい、未加入団体への参加の要請を継続する。

(7) 会費、会員制度についての検討を継続する。

4. その他の取り組み

(1) 運動に功績があったエスペ란チストに「小坂賞」を授与し、内外にその功績を広める。

【1.3】 エスペラント広報事業の計画

1. 広報委員会を設置して、ウェブ活用も含めた、より効果的な広報の検討・推進を行う。
2. 本会のウェブページに、エスペラントに関することや行事・講習会等に関する情報を提供する。また、掲載したことを定期的に、メールで会員に周知する。
3. マスコミ向け広報誌『エスペラント通信』を9月と2015年3月の年2回発行し、全国各地のマスコミ150社以上に郵送する。

4. 広報材料の拡充。

- (1) 昨年度とは別な発想のエスペラントの宣伝チラシを作る。
- (2) エスペラントの気軽な宣伝に使える、本にはさむ葉を作成する。
- (3) エスペラント展に使える展示資料や宣伝チラシの公開書庫をウェブ上に作る。

5. 展示会（東京グローバルフェスタ）へ出展する。

【2】 エスペラントを用いた国際交流事業（担当：国際部）

【2.1】 基本方針

1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio = UEA）の日本における国別代表組織として推進する。また、UEAのアジア運動委員会（Komisiono pri Azia Esperanto-Movado = KAEM）と協働する。事業には、日本のUEA委員、UEAデレギート、KAEM委員やKAEM協力者が協働して当たる。
2. 日本のエスペランチストが行なう国際的なエスペラント活動を支援する。
3. 外国のエスペランチストに日本の各種催事への参加を促す。

【2.2】 国際交流事業の計画

1. 2014年に行なわれる国際的なエスペラント大会へ参加し、また協力を呼びかける。青年層には「青年エスペランチスト国際行動支援金」制度の活用を促し、下記国際大会への参加を呼びかける。
 - (1) 第99回世界エスペラント大会（アルゼンチンのブエノスアイレス、7月26日～8月2日）に対して、UEA委員の派遣、movada foiro および参加旅行団を関連事業部と協力して実施する。
 - (2) 第70回国際青年エスペラント大会（ブラジルのフォルタレーザ、7月18日～25日）。
 - (3) 第101回日本エスペラント大会（【6.2】参照）中の関連行事—アジア活動分科会、UEA-delegitoj分科会、Pasporta Servo分科会—を開催し、それぞれの活動の活発化を図る。同大会へ外国、特にアジアのエスペランチストたちの招請を実行委員会と協働する。
 - (4) 第33回東アジア青年エスペラント合宿（Komuna Seminario inter orient-aziaj junuloj、ベトナムのホーチミン、12月末）
2. 日本のエスペランチストへの支援として、国際文通サービスを継続する。
3. UEA-delegito間の連絡を図り、また不在地域にはdelegitoを置くように働きかける。
4. 各地のエスペラント会の姉妹都市交流を支援する。

【3】 エスペラント研究教育事業（担当：研究教育部）

【3.1】 基本方針

1. 教育部門においては、エスペラント学習者に語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成、エスペラント入門のための教材提供、学校におけるエスペラント授業への支援、エスペラント界外でのエスペラント教育に関する事業への支援等に取り組む。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラン

ト語論の発展に取り組む。

3. 八ヶ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、エスペラント運動の発展に寄与する。本施設を内外のエスペランティストおよび一般に開かれた施設としての有効利用する。

【3.2】研究教育事業の計画

1. エスペラント集中学習の機会を設ける。
 - (1) 第47回エスペラントセミナーオ：5月3日～5日、東京都で開催する。
 - (2) 中級セミナー：八ヶ岳エスペラント館で開催される文化講座の中で実施する（9月14日（日）、15日（月・祝））
 - (3) 講師養成講座：10月7日～10日の東アジアILEIセミナー（亀岡市）と連携して開催する。
2. エスペラント学力検定試験、新テスト、およびKER試験（5月17日）を実施する。
3. 新教材「ドリル式エスペラント入門」の後半部分を完成させ、ネット上での公開を目指す。
4. 学校でのエスペラント授業を支援する。
5. 各国の学校で行われているエスペラント授業について調査する。
6. Lernu.net日本語版の翻訳および指導チームができるよう、働きかけをする。
7. 日本エスペラント大会において研究発表会および文芸コンクールを実施する。

【3.3】八ヶ岳エスペラント館における事業の計画

1. 2014年には300人の利用者を目指にする。そのために
 - (1) 4月12日（土）から11月13日（木）まで開館し、この間週末と夏季は宿直当番を置き、利用者の便を図る。
 - (2) 2014年の試みとして宿泊明けが平日の場合の利用を1000円にした。これを生かすために、八ヶ岳館利用責任者（ライセンス所有者）を増やし、宿泊明けが平日となる日（日曜から金曜まで、祝日の前日を除く）の利用を促進する。
なお、ここでの平日は、日曜から金曜までの日であるが、祝日の前日を除く。
 - (3) エスペラント界と地元へエスペラント館の宣伝を強める。
2. 次の行事を主催する。
 - (1) 八ヶ岳エスペラント館20周年記念行事
 - (2) 第16回エスペラント漬け合宿（8月下旬、略称NEK、エスペラントのみを使って行う合宿）
 - (3) 第3回エスペラント文化講座（秋）
 - (4) エスペラント関係展示（通年）

【4】エスペラント雑誌の刊行事業（担当：編集部）

【4.1】基本方針

1. 雑誌『La Revuo Orienta／エスペラント』（RO誌）を下記の方針で発行し、エスペラントの普及発展に資する。
 - (1) エスペラントを学ぶ人にとって学習のよりどころとなる。
 - (2) エスペラントを使う人にとって実用の場を深め、広める。
 - (3) エスペラントを広める人にとって情報源となり、運動の活力となる。
 - (4) 特に若い会員、新規入会者にとって魅力的な誌面構成になるよう努める。

【4.2】雑誌刊行事業の計画

1. 雑誌（RO誌）を下記のように刊行する。
 - (1) 基本的に、印刷版として、A5判40ページを原則とした雑誌を毎月発行する。ただし8・9月号は合併号とする。
 - (2) 電子版については、個人会員に専用ウェブページで提供する。
 - (3) 視覚障害者向けには、印刷版を抜粋した音声版を発行する。また点字版の制作に協力する。

2. 編集体制は、毎月の編集部会を中心とし、年1回は拡大編集部会を開く。
3. 各号については、ニュース記事・定例記事・特集記事などの比率、日本語文とエスペラント文との比率を考慮しつつ編集する。特集記事については、本会とエスペラント界の動向を反映しつつ、編集部会で計画する。
4. 他の事業部門との連携により、「号外」を複数回発行する。（4月に普及推進部と「運動年鑑」、6月に総務部・普及推進部と「JEI事業に関するアンケートまとめ」（仮題）、8月に総務部と「図書カタログ」、2015年1月に大会組織部と「第101回日本大会報告」）。

【5】 エスペラント図書等の刊行及び頒布事業（担当：出版部）

【5.1】 基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また、内外のエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

【5.2】 図書刊行事業の計画

1. 出版物として下記を予定する。また他に具体的な出版物の案がある場合、検討する。
 - (1) 藤巻謙一著『エスペラント中級独習』（CD付）。
 - (2) 阪直著『20のポイントで学ぶ国際語・エスペラント』（新装版）。
 - (3) 第101回日本大会記念出版として大森和良著、上原徳治原画制作の『風の吹いてきた村』のエスペラント訳"La vilaĝo, al kiu la vento blovis"（訳者代表：北川昭二）。
 - (4) 第100回日本エスペラント大会公開講演会の報告集。
2. 今後の出版物の計画をする。
 - (1) 『日本語エスペラント辞典（宮本正男編）』の改訂版出版の編集委員会を結成する。
 - (2) 『日本エスペラント運動史（初芝武美編）』以降の歴史（1969年以降）の編纂について検討する。

【5.3】 図書頒布事業の計画

1. エスペラント書籍の販売、取次ぎを行う。出張販売に応じる。
2. エスペラント図書の拡販に努める。

【6】 エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

【6.1】 基本方針

1. 日本エスペラント大会は、エスペラントの実用・活用のある場であるとともに、エスペラント普及活動を進める場、エスペラントを社会に知らせる場である。また、エスペラントに習熟するための場、エスペラント文化を高める場でもある。このような意義を持つ日本エスペラント大会を継続して開催する。
2. 大会を継続して開催する体制の整備を進める。

【6.2】 日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 日本エスペラント大会を円滑に実施するための体制および規約・細則を整える。
2. 第101回日本エスペラント大会（2014年）を福井県小浜市で10月11日（土）～13日（月・祝）に開催する。
3. 第102回日本エスペラント大会（2015年）を宮城県仙台市で10月10日（土）～12日（月・祝）に開催する準備を進める。
4. 第103回日本エスペラント大会（2016年）の開催地の候補を検討し、2014年内に決定する。

【7】 その他事業及び法人の管理

【7.1】 基本方針

1. 本協会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員層の拡大をはかる。

2. 各事業部門と連携をとり、事業が円滑に行なわれるよう支援する。
3. 引き続き新財団の管理方法確立に取り組む。

【7.2】総務部担当事項の計画

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など）を事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て着実に実行する。事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的に関き対応する。
2. 図書館関連事業を、ボランティアの協力を得て推進させる。
3. 図書カタログを発行し、図書販売に資する。また、図書販売促進の対策を実行する。
4. 各事業部と連携し、6月28日（土）に「エスペラントの日」（6月12日）の記念公開講演会を開催する。
5. 関連事業部と協力し、第99回世界エスペラント大会へ向けて参加旅行団を企画、実施する。

【7.3】財務部担当事項の計画

1. 公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支える。

【7.4】ウェブ管理部担当事項の計画

1. 本会ウェブサイト刷新計画を立案する。一般人向けにも対応した内容とし、情報更新の協同作業を目指す。
2. 本会のウェブページにて、本会の一般財団法人としての情報を公開する。
3. 本会のウェブページにて、販売図書などの会員サービス情報を提供する。
4. 本会の事業をインターネット技術の側面から支援する。
5. エスペラント版ウェブページを改訂・充実する。
6. エスペラント界のウェブサイトとの連携を図る。
7. ウィキペディアのエスペラント版の編集活動を啓蒙する。